

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月12日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

上場取引所 東大

コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 川上 優

TEL 06-6765-0670

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	6,879	—	248	—	281	—	369	—
21年2月期第3四半期	6,648	△37.4	△339	—	△372	—	△381	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	44.92	—
21年2月期第3四半期	△46.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第3四半期	4,105	1,965	47.5	236.90
21年2月期	3,587	1,665	46.0	200.73

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 1,948百万円 21年2月期 1,651百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	6.00	—	3.00	9.00
22年2月期	—	6.00	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,280	0.2	422	—	454	—	360	—	43.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第3四半期 8,359,103株 21年2月期 8,359,103株

② 期末自己株式数 22年2月期第3四半期 133,566株 21年2月期 133,244株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第3四半期 8,225,759株 21年2月期第3四半期 8,226,079株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「参考」個別業績予想

平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,900	13.0	340	—	400	—	290	—	35 25

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年3月1日から11月30日まで)は、国内民間需要の自立的回復力は弱いものの、アジアを中心に海外経済は持ち直しの動きが広がっており景気は下げ止まっておりますが、雇用情勢の悪化や設備投資の低迷は続いており、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループの卸売事業は好調に推移し、売上高は6,879百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は248百万円(前第3四半期連結累計期間は339百万円の営業損失)、経常利益は281百万円(前第3四半期連結累計期間は372百万円の経常損失)、四半期純利益369百万円(前第3四半期連結累計期間は381百万円の四半期純損失)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

(1) 卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、引き続きメーカー系オペレーターや路面店等の多店舗展開しているオペレーターへの商品企画段階からの提案営業を強化し、また商品別では「まるねこくらぶ」をはじめとする自社企画商品や、他の有名キャラクター商品のヒットにより売上高は3,403百万円(前年同期比17.8%増)となりました。

S P部門においては、雑誌の付録や外食チェーン店向けキャンペーン商品のOEM等が決まり、売上高は808百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

物販業界向け販売部門においては、12月の映画公開を控えたワンピースの人気の高まりにより、コンビニエンスストア向けホビー商材の大型案件が決まり、また雑貨専門店・ディスカウントストアでもワンピースコーナーを導入し、店頭でも好調でありました。加えて前年発売し好調であった腹巻を、今回はキャラクターを更に増やし発売したところ大きく伸長し、売上高は1,862百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

以上の結果により、売上高は6,074百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は266百万円(前第3四半期連結累計期間は181百万円の営業損失)となりました。

(2) 小売事業

小売事業においては、6月にオープンした「NAKANUKIYA+on」心斎橋店は赤字幅は縮小したものの黒字には至らず、広島本通店も若干の赤字となりました。一方、松山銀天街店は、好調を継続し黒字を確保しました。

また、今後の出店の方向付けのために、若い女性を対象とした服飾雑貨の店「SALAD BOWL」浦和店(催事売り場)の香水売り場に参入し好調なスタートを切っています(期間は平成21年11月26日～平成22年1月17日)。

店舗数は、前年同四半期末時点(平成20年11月30日)の7店舗(催事店舗2店舗含む)から、当四半期末時点(平成21年11月30日)では4店舗(催事売り場1店舗含む)に減少したため、売上高は805百万円(前年同期比39.7%減)となりましたが、不採算店舗を閉鎖したことにより、営業損失は20百万円(前第3四半期連結累計期間は158百万円の営業損失)と138百万円の改善となりました。

(注)「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比及び前第3四半期連結累計期間の実績数値は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ518百万円増加し、4,105百万円となりました。これは主に、未収還付法人税等(流動資産「その他」)の減少額101百万円、保険積立金(投資その他の資産「その他」)の減少額79百万円等により一部相殺されたものの、現金及び預金の増加額445百万円、受取手形及び売掛金の増加額339百万円等によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ218百万円増加し、2,140百万円となりました。これは主に、未払金(流動負債「その他」)の減少額102百万円等により一部相殺されたものの、買掛金の増加額141百万円、未払法人税等の増加額93百万円等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ299百万円増加し、1,965百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加額295百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて445百万円増加し、918百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、269百万円となりました。

これは主に、売上債権の増加額が337百万円及び保険解約益が107百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が447百万円、仕入債務の増加額が141百万円及び法人税等の還付額が101百万円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、237百万円となりました。

これは主に、保険積立による支出が56百万円あったこと等により一部相殺されたものの、保険積立金の解約による収入が253百万円及び投資有価証券の売却による収入44百万円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、53百万円となりました。

これは主に、配当金の支払額が33百万円及び短期借入金の減少額が20百万円あったことを反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期通期の業績予想につきましては、平成21年10月2日に公表いたしました業績予想を修正しました。平成22年2月期通期は、売上高9,280百万円、営業利益422百万円、経常利益454百万円、当期純利益360百万円と予想しております。詳細は本日別途公表しました「平成22年2月期(第21期)通期業績予想・配当予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来より主として総平均法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算出しております。

なお、この変更による損益及びセグメントに与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	918,669	472,988
受取手形及び売掛金	1,380,244	1,040,952
商品	556,271	483,636
繰延税金資産	20,512	9,952
その他	65,880	235,556
貸倒引当金	△7,627	△5,905
流動資産合計	2,933,950	2,237,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	528,853	538,778
減価償却累計額	△182,420	△170,501
建物及び構築物(純額)	346,432	368,277
車両運搬具	8,907	8,004
減価償却累計額	△6,809	△5,940
車両運搬具(純額)	2,097	2,064
その他	50,967	61,295
減価償却累計額	△34,085	△44,440
その他(純額)	16,882	16,855
土地	332,546	332,546
有形固定資産合計	697,958	719,743
無形固定資産		
無形固定資産合計	5,907	5,294
投資その他の資産		
投資有価証券	132,606	141,715
繰延税金資産	2,786	2,857
その他	351,262	499,503
貸倒引当金	△18,831	△18,824
投資その他の資産合計	467,825	625,251
固定資産合計	1,171,690	1,350,289
資産合計	4,105,641	3,587,470

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	953,824	812,573
短期借入金	650,000	670,000
未払法人税等	94,737	1,265
賞与引当金	89,472	41,006
その他	238,246	288,930
流動負債合計	2,026,281	1,813,776
固定負債		
退職給付引当金	110,486	103,268
その他	3,526	4,605
固定負債合計	114,012	107,874
負債合計	2,140,294	1,921,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,081,745	786,311
自己株式	△51,122	△50,995
株主資本合計	1,943,459	1,648,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,420	1
繰延ヘッジ損益	△1,212	3,052
評価・換算差額等合計	5,208	3,054
新株予約権	16,680	14,613
純資産合計	1,965,347	1,665,819
負債純資産合計	4,105,641	3,587,470

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	6,879,746
売上原価	4,958,933
売上総利益	1,920,813
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	601,845
賞与引当金繰入額	89,472
退職給付費用	23,847
その他	957,618
販売費及び一般管理費合計	1,672,783
営業利益	248,029
営業外収益	
受取利息	372
受取配当金	2,244
投資有価証券評価損戻入益	34,969
その他	11,654
営業外収益合計	49,240
営業外費用	
支払利息	6,239
投資有価証券売却損	6,708
その他	2,346
営業外費用合計	15,293
経常利益	281,976
特別利益	
保険解約返戻金	107,095
前期損益修正益	59,022
その他	12,243
特別利益合計	178,361
特別損失	
固定資産売却損	519
減損損失	12,466
特別損失合計	12,985
税金等調整前四半期純利益	447,352
法人税、住民税及び事業税	95,132
法人税等調整額	△17,245
法人税等合計	77,886
四半期純利益	369,466

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	447,352
減損損失	12,466
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,465
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,728
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,218
差入保証金の増減額(△は増加)	67,249
受取利息及び受取配当金	△2,616
支払利息	6,239
投資有価証券評価損戻入益	△34,969
保険解約損益(△は益)	△107,095
売上債権の増減額(△は増加)	△337,247
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72,635
仕入債務の増減額(△は減少)	141,250
その他	△1,456
小計	175,950
利息及び配当金の受取額	2,667
利息の支払額	△5,968
法人税等の支払額	△4,328
法人税等の還付額	101,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△23,232
保険積立金の解約による収入	253,502
投資有価証券の売却による収入	44,883
その他	△37,653
投資活動によるキャッシュ・フロー	237,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000
自己株式の取得による支出	△127
配当金の支払額	△33,721
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,435
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	445,681
現金及び現金同等物の期首残高	472,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	918,669

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,074,527	805,219	6,879,746	—	6,879,746
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,008	—	6,008	(6,008)	—
計	6,080,535	805,219	6,885,755	(6,008)	6,879,746
営業利益又は営業損失(△)	266,754	△20,562	246,191	1,838	248,029

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～11月30日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,648,422
II 売上原価	5,001,586
売上総利益	1,646,835
III 販売費及び一般管理費	1,986,269
営業損失	339,433
IV 営業外収益	20,294
V 営業外費用	53,816
経常損失	372,955
VI 特別利益	45,844
VII 特別損失	39,552
税金等調整前四半期純損失	366,664
税金費用	15,298
四半期純損失	381,962

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～11月30日)

	前年同四半期 (平成21年2月期第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	366,664
減価償却費	13,625
店舗閉鎖損失	34,807
賞与引当金の増加額・減少額(△)	33,403
貸倒引当金の増加額・減少額(△)	7,625
退職給付引当金の増加額・減少額(△)	15,194
保証金の減少額・増加額(△)	330,726
受取利息及び受取配当金	△5,376
支払利息	4,897
投資有価証券売却損	16,718
投資有価証券評価損	26,208
保険解約益	△6,577
保険満期返戻益	△12,343
前期損益修正益	△20,117
固定資産売却損	3,973
固定資産売却益	△13,383
売上債権の減少額・増加額(△)	△9,503
棚卸資産の減少額・増加額(△)	△131,396
仕入債務の増加額・減少額(△)	114,768
未払金の増加額・減少額(△)	△155,393
その他	△151,788
小計	△270,597
利息及び配当金の受取額	5,248
利息の支払額	△5,005
法人税等の支払額	△200,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	△470,944
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△6,862
投資有価証券の売却による収入	2,063
保険積立による支出	△35,355
保険解約による返戻金収入	15,609
保険満期による返戻金収入	23,038
有形固定資産の取得による支出	△293,026
有形固定資産の売却による収入	67,963
その他	△461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,029
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,280,000
短期借入金の返済による支出	△682,000
自己株式の取得による支出	△94
配当金の支払額	△58,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	539,827
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,975
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)	△170,121
VI 現金及び現金同等物の期首残高	958,462
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	788,341

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～11月30日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,313,256	1,335,165	6,648,422	—	6,648,422
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,728	226	15,955	(15,955)	—
計	5,328,984	1,335,392	6,664,377	(15,955)	6,648,422
営業損失	△181,552	△158,671	△340,224	790	△339,433

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～11月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。